

久万高原町
議会だより

第25号

2020年
5月



農業の担い手

主な内容

3月定例議会概要……………	2	産業建設常任委員会……………	17~19
一般質問(7人の議員が町政を質す) ……	3~ 9	議会最終日質疑……………	20~21
議会2日目(議案審議) ……	10~12	視察研修報告……………	22~23
総務文教厚生常任委員会……………	13~16	おしらせ・編集後記など……………	24

令和2年

3月定例議会

3月5日～16日

3月5日から16日までの12日間の会期で開催された。

第1日目に一般質問を行い、7議員が保育環境・子育て支援、農業戦略の今後、ICTの利活用、障がい者と共に暮らすまちづくりなどを取り上げ、町政を質した。

第2日目に、専決処分の報告2件、上浮穴高等学校学生寮設置条例の制定、会計年度任用職員の給与等に関する条例等の改正条例の制定11件、令和元年度補正予算12件、令和2年度一般会計他予算14件、指定管理者の指定等について質疑を行い、所管の常任委員会に審査付託した。

第3日目に総務文教厚生常任委員会、第4日目に産業建設常任委員会を開き、付託された議案を審議、採決した。

最終日に、各常任委員会付託議案と共に、追加議案として専決処分の報告1件、新町建設計画の変更1件、指定管理者の指定2件、工事請負・工事請負変更の契約各1件等を審議し、全員一致でこれを可決し、各常任委員会・特別委員会の調査研修報告の後閉会した。

令和元年度3月補正後予算

総額	156億5111万円	(4億651万円 減)
一般会計	95億5698万円	(4億3229万円 減)
特別会計	39億2891万円	(1634万円 増)
事業会計	21億6521万円	(943万円 増)

令和2年度予算

総額	153億958万円	(前年度比 5579万円 減)
一般会計	94億1492万円	(前年度比 6365万円 増)
特別会計	37億4348万円	(前年度比 8984万円 減)
事業会計	21億2117万円	(前年度比 2960万円 減)

主な歳入

町税	8億3207万円
地方交付税	44億3000万円
国庫支出金	5億9317万円
県支出金	4億7918万円
町債(借入)	13億8800万円

主な歳出

光通信整備事業補助金	4億1500万円
町民館耐震補強・改修関連	1億8331万円
防災無線整備工事関連	5億7454万円
人件費	20億870万円
物件費	13億9704万円
公債費(借入金・利子返済)	8億2026万円
操出金(特別・事業会計へ)	8億5075万円

今回の写真は4月下旬にアグリピアの圃場で撮影しました。研修1年目の都築さんです。この日はトマト苗の接木作業中でした。

研修中の皆様が、次代の久万高原野菜の作り手として、今後ますますご活躍されることをお祈りいたします。



農業の担い手

表紙の写真

一般質問



大原貴明議員

待機児童

待機児童発生に対する対策は立てているか

町長「幼稚園の預かり保育制度を充実し、幼稚園児の確保を目指す」

問

近年、子育て世帯の就労率が増加し、本町も保育ニーズが増加している。多くの都市部で待機児童問題が報じられている中、本町も同様の課題が発生する可能性があるかと心配しているが、保育が必要とされる子どもの人数について、どのような予測をしているか。保育供給量に対して需要が上回れば、待機児童が発生する懸念があるが、その場合にはどのような対応策を考えているのか。

答

現在、第2期子育て支援事業計画を策定している。その中で過去の人口動態に基づき、今後5年間の子供人口推計をしている。久万こども園の令和2年度の申し込み状況は2号、

3号の定員80名のところ90名となっている。定員の120%まで入園可能であり、あと6人程度に達し、それ以降は待機児となる。来年度から全幼稚園の預かり保育を実施予定だ。こども園の預かり時間に近い形で働き家庭の負担軽減を図ることで、こども園から幼稚園へ移動する園児に期待している。

河野町長

問

久万幼稚園の改築事業に合わせて、久万幼稚園の認定こども園移行を提案するかどうか。

答

幼稚園とこども園合算の供給量が258、需要が136なのでキャパシティはある。

。それを幼稚園がどう引き受けるかを検討する必要がある。幼稚園が急速に認定型の保育園化の方向に向かっていく。町内幼稚園の認定こども園化も、幼児教育無償化制度ができてから大きく舵を切っていくかなければならないと認識している。

小野教育長

問

町長は公約に「安心して子供を育てられるよう子育て支援策を拡げます」と掲げているが、現状、公約の実現は果たされているか。そして、今後具休化した子育て支援策があるか。

答

新年度は町の子育て支援の方向性を明確にし、子

問

町内の子育て世帯のニーズは様々なものがある。例えば病児・病後児保育の実施や医療費の無償化範囲の拡大など。これらは少子化対策や子育て世帯の流出阻止対策として各地の自治体を取り組んでいることだ。このような具体的施策を町長に打ち出していたら、久万高原町で子育てをしようという形につながると思うがいかがか。

河野町長

答

子育てにやさしい町を標榜し、一歩ずつ進めていく。具体的な提案は検討材料としたい。

河野町長

一般質問



岡部史夫議員

質問1

SDGsで持続可能な町づくりを

町長「積極的に取り組む

問 住民総参加で持続可能な町を目指す上でSDGsを積極的に推進すべきでは。

答 本町でも人口減少により地域経済全体の縮小が懸念される中、2060年に4000人以上の人口維持目標達成のため、総合計画の検証・改定を行うこととしており、持続可能な町づくりを目指す上でSDGsを検討している。
河野町長

問 選ばれる自治体になるためにもSDGs取り組みを明確にすべきでは。

答 取り組んで行く方向に揺らぎはない。
河野町長

質問2

問 SDGsの取り組みの内、政府が推奨している4つの項目が森林に関係しており、町が取り組む貢献度は高く、総合計画・都市計画マスタープラン・環境基本計画など町の全ての計画においてSDGsの理念を位置付け、担当課を明確にすべきでは。

答 総務課で対応していきたい。
河野町長

問 町は、SDGsの担当係を設けたことを明言すべきでは。

答 所管は総務課で、誰が担当するか新年度で検討する。
河野町長

質問3

問 通告していないが、町長は停滞する町政の立て直しを公約としていたが、停滞していた部分をどの様に立て直してきたか。

答 通告いただいていないので答弁を控える。
河野町長

問 SDGsに取り組むとした姿勢から実績を踏まえた答弁が聞きたかったが残念だ。

質問4

5G通信システムの取り組みは

問 町長「コストを見極めて検討5G次世代通信システムの活用取り組みは。

答 総務省の地域課題解決型ローカル5Gの開発実証に係る提案募集に、町もコンソーシアムの一員で参加していくこととしているが、今後、解決できる課題とコストを十分見極めて検討していく。
河野町長

問 現在のICT高速通信網整備後の先がどうなっているのかが見えない。具体的な答弁を。

答 取り組む方向は、地域の課題解決型のローカル5Gであると考えている。総務省の提案募集に参画希望を提出しており、

後れを取らないよう対応していく。
河野町長

問 現状の4G及び5Gを活用していく環境をどの様な手順で行っていくのか。また、利用可能なイメージについては。

答 コストを見極めながら対応していくべきであり、通信手段によって容量・費用が異なる。5Gの超高速・低遅延の特性から、自動運転や遠隔医療に対応が可能となる。
情報政策推進室長

問 基幹産業への利用におけるブランドデザインを早く示すべきであり実現可能な部分から取り組んで欲しいが、室長の在任期間が残り一年しかなく心配だ。情報推進室の今後の体制は。

答 仮に、田村室長が令和2年度で終えるとしても、築かれた路線を継承して庁内で一丸となって取り組んでいく。
河野町長

問 5Gを含めたICTの活用には高度な専門知識が必要になるが、しっかり担保できる体制を構築すべきであり、レベルを落とさない対応を期待する。

政策

施政方針は

町長 - 新しい試みを加えながら

問 12月議会で次期町長選に出馬する旨の発言があった。いかなる公約、施政方針で臨まれるのか。

答 私たちが想像する以上に、速いスピードで人口減少が進んでいる。どうすれば人口の維持ができるか、そのことに腐心していく。基幹産業である農林業の足腰をさらに強くしていく。また、欠かせない施策として、移住促進に引き続き力を入れて行く。さらに交流人口を増やすべく近隣の市町村と連携を図っていく。町内全域で始めた高齢者の足の確保、安心して子どもを育てられる子育て支援や包括支援センターを軸とした福祉の充実に心し

て行く。新しい試みを加えながら、誇れるふるさとづくりに努めてまいりたい。

河野町長

問 今後取り組んでいきたいとあったが、具体的に推進するためには何が一番必要か。

答 若い人の息吹も感じているところである。具体的な意見も聞いている。具体化できるよう努めたい。これまでの検証をしながら、新しい取り組みを実現するため予算立てもしている。実行できるよう各課部局横断的に連携し進めて行くことが肝要であると思っている。

河野町長

問 これまでの検証が一番大事だと。

答 どれだけ変わってきたかである。住民の方々が夢をもって、希望をもって、この地で頑張っていける、そのことが一番大事なこと、着実に成果は出始めていると思う。夢をもって、外から参画される方々については経済的な裏づけがある、若い人たちが地域に呼び込めることになる。そのあたりは十分に頭を描きながら残された期間、しっかりと任務を遂行して行きたい。

河野町長

問 実現するのに大事なものは、職員のやる気とスキルアップのために研究をしながら、事業に対するやりがいや大事にして、町政を進めて行くことが大事ではと思うが。

答 スキルアップ、部局横断での連携は不可欠であり、財政についても、光の整備、防災行政無線、上

高の寮などどうしてもやらなければならないところがある。また子供たちの健全な育成を考えたいので、今取り組んでいかないといけないこともたくさんある。スクラップ・アンド・ビルド、このことを頭におきながら対応していかないといけない。

河野町長

問 いろんな対策の話が出たが、危機管理についての話が出なかった。新型コロナウイルス対策、学校の休校にしても毎日入れ替わる。住民も不安を覚えるし、学校や子供、保護者にしても戸惑う結果になった。全課、全庁挙げて危機管理についても対策を講じてもらいたいと思うが。

答 さらに住民が安全・安心な意識をもてるような体制を、さらに強化して行きたい。

河野町長



高橋末廣議員

一般質問



田村昭子議員

農業施策

一期目に取り組んだ農業施策の成果と、令和2年度の戦略と施策を問う

答

農林業の進歩なくして町の発展はないと申し上げてきた。全国的な人口減少期の中、とりわけ本町のような中山間地においては顕著に深刻さを増している。本町農業の根幹であるトマト、ピーマン、コメの産地化維持は絶対条件であり、そのための担い手育成として農業公園研修生の新たな補助制度も創設して取り組んでいる。令和2年度については農業公園開設以来最大の人数となる7名の研修生となり、その成果も出てきていると感じる。また道の駅等への出荷拡大策として小規模ハウスや加工機械導入の補助を実施し、高齢者に優しい新規作物を提案し振興を図ってきた。自ら育てた農産物をお金に換

える、さらにひと手間かけて売る

6次化に挑戦する方も増えており手ごたえを実感している。今後についても切れ目のない担い手育成は最重要課題であり、新規就農者の定着を図るため産地全体で支援する仕組みづくりやスマート農業の推進、情報の共有化とともに、熟練農業者の技術を継承する方策が必要と考えている。もちろん直売所に出荷する皆様の支援や、中山間直接支払制度を活用した耕作放棄地対策、鳥獣害対策、災害対策、産地化支援対策を引き続き推進し、久万高原町の地域特性を活かした農業振興を図っていく。

河野町長

問

農業研修生へのサポート予算も増えてきており、農業の活性化と若い移住者の増加につながる期待の大きさを感ずるが、Uターン、Iターンした町内で育った若者へのサポートはどのように考えているか。農業に生きがいを見出す若者を増やすため農業を生業として生活ができ、子育てができる環境の整備が必要である。農地、住居の問題やスマート農業の推進等、行政のサポートについてどう考えているか。

答

Uターン、Iターンの皆様についても大いに期待している。親御さんが農業を営み、本人は一度都会に出られたが帰られて農業をやってみたいと思われる方には、具体例として、条件を満たせば、次世代人材投資資金の制度により年間150万円を5年間受けることも可能である。農業に魅力を感じ自然の中で生きがいを見出しながら経済的に自立できる農業振興に注力していきたい。

河野町長

問

徳島県上勝町の高齢者が取り組む葉っぱビジネスは有名だが、高齢者や女性が取

り組める農産物や加工品の開発についてはどのように考えるか。

答

高齢者、女性の農業振興については、県農業指導班とも連携し、レタス、スナップエンドウ、白ネギ等を推進している。6次化の機械補助も好評である。女性農業者の希望によりエディブルフラワーという食用花の講習会も実施した。道の駅の生鮮野菜と加工品で1億円を超える売り上げがあると思われることから、ふるさと創生課とも連携し魅力ある農産物の提供に努める。

農業戦略課長

問

人口減少や高齢化の流れの中で、発想の転換や町の特産物を活かした町の活性化に尽くすべきと思う。10年後の農業についてどのように描いているか。

答

10年後も今も安心・安全で新鮮な農産物を提供し続けなければ町の農業は衰退する。そのような農産物を提供し続けるため、後継者問題、移住者の問題等、様々な課題に対応し行政としてでき得る支援策を講じていく。

河野町長



熊代祐己議員

質問1
情報通信基盤整備の進捗とICTの活用について

問 現在、LPWAを使って林業従事者の安心、安全への取り組みを始めているが、今後の横展開をどう考えているのか。

答 まず令和2年度、河川の水位情報など防災情報の収集から始めたい。ほかにも地滑りセンサーや、有害鳥獣捕獲用システム、福祉の分野にも考えている。

河野町長

問 横展開は各課と連携して、現在の町の状況で何にどう使えるか把握しているのか。

答 非常に容量が少ないながらも、静止画も送ることができるので、不法投棄の監視やドアの閉閉を監視したり、電気メーター、水道メーターなどの状況を

感知することを行政事務と組み合わせさせていきたい。

情報政策推進室長

問 情報通信基盤整備に専門の支援員を入れているが、工期の短縮はできているのか。

答 通信網の整備事業は樹木の伐採の調整により工期が遅れることが全国で多発しているのを調整してもらい、2社体制で工事することが決まっている。

情報政策推進室長

問 樹木の伐採など工事前からわかっていることで、町長がNTTに工期短縮を指示するべきではないか。

答 整備完成期限は絶対に遵守してもらおうという情報政策推進室長同席で打ち合わせしてきた。しかし、工事を進めて行くうえで山間地でもあり、地域をよく知る人物でないといふことが遅れるということには了解している。

河野町長

問 先の室長答弁で、地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証は町の提案か。

答 町主体ではなく、自治体も含めた地域の課題の解決型

というフィールドを設定し、関係者がコンソーシアムを組んで提案する形だったので課題を反映させ、関わり合いを持っていきたい。

情報政策推進室長

問 今後、町はローカル5Gの実証等、協力体制をとっていくのか。

答 情報通信社会の時代に、連携をとりながら民間企業でも有利な提案があれば共同事業体、コンソーシアムなど、できるところからかわっていき整合性もあると思っている。

河野町長

質問2
上浮穴高校存続に向けた町の取り組みは

問 上浮穴高校の寮も完成し受け皿体制はできたが、少子化が進む中、高校存続の為に、持続可能な学校教育にどう取り組んでいるのか。

答 令和2年度の受験希望者、合計55名を見込んでおり、近年にない応募の競争率で安堵している。森林環境科の全国公募では関西方面から推薦入試で6名の内定報告を受けている。町内中学生の生徒数の推移は、令和3年度

からは50名を割り、令和9年度には40名を割り徐々に減少していく。上浮穴高校振興対策協議会では、存続に向け様々な支援策を講じている。30年度から森林環境海外研修を開始、地域未来留学フェスタに参加、大都市圏で学校の魅力をアピールして、県外からの入学者の確保を目指した取り組みも行っている。

河野町長

問 現在の中学1年生は、合計40名で、寮建設で1学年10名の入学者を募っても、上高以外に進学される生徒もいるが、学校に対してどのような指導、対応をしているのか。

答 地元中学生、保護者に上高志向の情勢を強化して、保護者に興味、関心を持っていただく取り組みを力強く展開したい。移住家族は、幼稚園児5名、小学生13名、中学生4名、合計22名就学している。移住政策は重要で、ふるさと創生課と連携して取り組みたい。

小野教育長

問 幼稚園からでも給食費無料は導入できないか。

答 財政の事もあり、預からせていただき今後検討していく。

河野町長

一般質問



中野克仁議員

見える化

行政効果の見える化を進めるべきではないか

町長ーしっかりと検証して、課題に向き合いたい

問 先日の委員会の中で「儲かる農業・林業は進んでいるか」という質問に「儲かっていても、儲けたとは中々口に出さない」ので、よく分からない」という旨の答弁をされた記憶があるが、それが、町長の認識であれば、大変だと危機感を覚えた。町の事業一つ一つについて、しっかりと検証をし、町民や議会に報告し、何の為に予算執行し、どんな効果があったのか見えるようにすべきではないか。また、検証されているならばその上で、今後一番進めたい事業が有れば伺いたい。

答 町の事業に対しての検証、評価は、非常に重要であると考えている。具体的に、町の総合戦略に係る37施策毎に、担

当課で自己評価し、久万高原町総合戦略推進会議において事業の取り組み状況に対する評価・検証を行っている。PDCAサイクルが確実に機能する仕組みの構築に努めたい。評価検証の見える化については、広報誌、ホームページ、ゆりナビ等活用し、分かり易く伝えていきたい。**河野町長**

問 答弁は頂いたが、問題は検証の仕方、どう検証したかだ。例えば、農林業であれば、総売上を総事業者数で割った平均が上昇しているか、そして税金として入ってきているか、こういう事がなければ、本当に儲かる農林業ができていたとは推測できないと思う。この2点が確認できないなら、施策の見直しを考える。観光業なら、宿泊数・来

客数等を行政の投資額で割った数値が、波及効果の推測の数値であるとの説もある。こと、経済産業部門においては、数値的に明確な結果が出ないと、検証したとは言えないと思うがどうか。

答 新年度を迎えるにあたって、数値をしっかりと掴んでいき、ここは伸びている、ここは改善する、そのあたりの目標が設定されると思うのでしっかりと検証する。**河野町長**

問 進めたい施策については具体的に答弁に出てきていない。いつも、持続可能なまちづくりと言われているが、久万高原町としてそれを達成する為に、何をしていくかが具体的に見えていない所が、町民が不安になるところだと考えている。来年度、総合計画等もつくるが、私は、住民の方が、普段暮らしの中で感じている不便とか不満の解消や軽減する事を先ず一番にやるべきだと思う。例えば、交通弱者の問題、解決のための協議会は、この2年で2回程度しか開いていない。町として、解決の方向性、予算という所をしっかりと検討することが大切だ。一方、差し迫ってはいない町立病院の建て替えの検討委員会は、ここ数か月で4回開いている。これを

見ると、町長が一体どこにスタンスを置いて町政を進めているのかわからないが、どうお考えか。

答 地域の足についても、さまざまな課題についても、ひとつずつ皆さんと議論を交わしながら解決していくスタンスが大切だ。課題一つ一つに真摯に向き合いたい。**河野町長**

問 昨年12月議会で、次回町長選立候補を表明されたが、第1期町政のきめ細かな統括をし、次期町政への具体的な抱負を町民、議会に知らせる、または問われる事が、町長の責務であると考えられているがどうか。

答 最終年を迎え、3年半前に立ち上げた公約を今、精査している。そんなに遠くない時期に新しい、しっかりとした公約を提示したい。**河野町長**

問 私は、きめ細かな検証と統括をされますかと聞いたのだが。

答 きめ細かな検証を行い、足らざるところはしっかりと浮き彫りにしながら、次の期の糧と、しっかりと参りたい。**河野町長**



瀧野 志議員

質問1

**健康者と障がい者が共に暮らす
社会に向けての取り組みは**

現状では具体的に考えて無い。
今後の計画に反映させたい

問 健康者と障がい者が共に暮らす社会になるよう取り組むべきだ
と思うが、町として、今後、どの様な計
画を立てて取り組んで行くのか。

答 障がいのある方が安心して生活
していける町となるよう、障が
い者基本計画等を、今年度中に策定する。
河野町長

問 この5年間、障がい者が健康者
と共に生活できる、そういった
ことについて行政は何をしたか。

答 今後、精査し、検証しながら、
第5次障がい者福祉計画等を立
てていきたい。
保健福祉課長

問 質問に対する答弁が無いが。
障がいを持つ我が子と思う親の
気持ち、担当課長、職員はよく考え
ていただきたい。役場は、計画を立て、
こうします、ああしますだけでいいの
かと思う。社会福祉法人やグループホ
ームを立ち上げるとか、そういう計画は
ないのか。

答 今言われたことを、頭に置きな
がら総合計画の中に、しっかりと
と反映させていく。
河野町長

問 例えば、精神的に安定してい
ても引き取り手が無かったら、病
院から出ることができない。そういう障
がい者の方を、グループホームや社会福
祉法人なりを町として立ちあげ、受け
入れるというような事を、政策、施策と
して考えているか。

答 現状では、検討に至っていない。
河野町長

問 先般の講演会「農業と福祉が拓
く農村集落の継続の可能性」。

講演された渡邊先生が、立ち上げた社
会福祉法人E.G.Fは、入所者、職員12
0名ほどで、年間3億円近くの農業生
産をされている。その収穫祭の日に研
修したが、知的障がい者、精神障がい
者の皆さんの生き生きとした表情が印
象的であった。また、町にも4000万
円程の交付金が下りるとの話もあった。
町長は、講演を聞き、どう思ったか。久

万高原町も何とかなると感じなかつた
か。

答 直ちに、うちの町では難しいと
ころもあろうと思う。農業、病
院の関係者、有識者と話をし、実現で
きる方向であれば、その方向で行って
いきたいと思う。
河野町長

質問2

**総合計画更新にどう取り
組むのか**

町民へのアンケートなどで幅
広い意見を集め、可能な限り
盛り込んでいきたい

問 久万高原町第2次総合計画は、
5年ごとで区切っており、更新
の時期が来ている。国も、町民主役の地
方創生に向けた取り組みができるよう
多くの事業を計画している中、町は今後
のまちづくりについて、将来構想をしつ
かりと示す義務がある。計画を立てるに
あたり意見を伺いたい。

答 後期計画の策定に関しては、町
民の皆様へのアンケート調査
ワークショップ等の手法を取り入れる等
幅広く意見を頂戴し可能な限り盛り込
んでいきたい。地域資源を生かし、町内
外の人が総ぐるみでまちづくりに参加
し、新たな価値を生み出し仕事につなげ、
活躍できるまちづくりを進めていきま
す。
河野町長

問 今日まで、多くの計画を作成し
てきたが、全てとは言わないが、
コンサルタントに丸投げ委託し、理事者
もあまり理解できていないのが現状では
ないか。議会への答弁も、計画を無視し
た物が多くあった。今度の計画は、本当
に、役場、議員、住民全員がつくるもの
ではならないと思う。答弁されたように
して頂くよう望んでいる。

問 旧久万町内の立地適正化計画
も、都市計画区域と区域外の開
発のつながりをどうしていくか。それが
説明できないと区域だけの開発は不可
能だと思う。農林業にしてもまずは町長
が、どういう町にするんだという考えが
無いと何もできないと思うがどうか。

答 農業も林業もこれからの取り組
み次第だと思ふ。ここに住んで
良かったねと思ってもらえる様な町を
作っていく責任をしようとしているので、第
2次計画、皆様が納得できるようにもの
に仕上げていく努力をする。
河野町長

問 自信ある答弁でしたが、それな
ら、農林業はこうやったらきち
んと儲かるという経営計画書、資金繰
り計画書を示していただきたい。

答 今、お示しできないが、農林業
を中心としたまちづくりの方向
性は誤っていないと思う。少し時間をも
らいお示しする。
河野町長

議案審議

議案第5号 地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

質疑討論なし原案のとおり決定

議案第7号 久万高原町職員の職務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑討論なし原案のとおり決定

議案第8号 久万高原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

岡部 要綱で設置されている委員会等が附属機関に該当する場合、設置根拠の条例等はあるのか。

総務課長 町として委員会の設置はない。

岡部 要綱に規定している委員会の構成員が附属機関に該当する場合、設置根拠条例の有無を聞いていい。

総務課長 確認して常任委員会で報告、答弁する。

岡部 会計年度任用職員に移行することで、可処分所得が下がることがないのか。

総務課長 可処分所得が下がらないよう検討しており、適切に対応する。

総務文教厚生常任委員会に付託審査

議案第11号 久万高原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

質疑討論なし原案のとおり決定

議案第12号 久万高原町直瀬ふもと友愛館条例の一部を改正する条例の制定について

瀧野 年間利用者数は？50円値上げで経営は成り立つのか。

農業戦略課長 年間利用者数は1310人であり、燃料代の補填ができる。

瀧野 地域に指定管理されている施設に補助金を増額して経営改善につなげる考えはなかったのか。都市と農村の交流の場や、地域コミュニティなど役割を持っている。地域と協議していく考え方を持つべきだ。

農業戦略課長 地元の有志で経営されている町内に数少ない温泉

施設であり、地域振興も含めて検討していく。
産業建設常任委員会に付託審査

議案第13号 久万高原町直売所条例の一部を改正する条例の制定について

高橋 美川ふるさと市も、道の駅さんさん方式に変わってくると思うが、高齢の出荷者が不安を感じていると聞く。丁寧な指導を徹底し出荷体制を組んでいくべきだ。

ふるさと創生課長 移行については地区説明会も実施し登録を受け付けている。会員の皆さんには丁寧な説明を行い多くの方に参加いただきたい。
産業建設常任委員会に付託審査

議案第16号 令和元年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)

瀧野 以前から公会計や固定資産台帳の整理について質問してきたが、総合計画にも関係があり町はどのように考えているか。

総務課長 決算については公会計の形で決算し、固定資産台帳については2年計画で行っており、施設ごとの方針のもと計画を策定する。

中野 シングル子育て家庭移住

支援事業、移住促進に係る住環境整備支援事業補助金の減額理由は。

ふるさと創生課長 シングル子育て家庭移住支援事業は全国募集をしたが応募がなく、住環境整備支援事業は2件の実施であり、予算残額の発生により減額した。

岡部 プレミアム券交付事業結果が出ている時期だが、とりまとめ状況及び課題は把握しているか。

保健福祉課長 40%の実績結果は、子育て世代と高齢者に限定した事業であったことが要因と考える。

岡部 実績をみても、地域住民に寄り添った姿勢は感じられない。小さな地域の商店が消滅していく中、高齢者が近くで使える体制をとる等、持続可能な町づくりを標榜するなら地域目線での事業推進を望む。

中野 ゴミ処理施設解体撤去工事が、年度内完了できなかった理由は。

環境整備課長 ダイオキシンの除染等に手間取ったことや、侵入口の橋の荷重制限に支障があった。

中野 ダイオキシンのあることは当初から考えられることで、橋の荷重の問題も面河の国民宿舎解体で議論したが、学習ができていない。事業年度内完了は当たり前のことだ。

環境整備課長 ダイオキシンを処理する業者の関係で10月から12月まで持ち込めなかった。

高橋 ペーパーレス会議システムの進捗状況は。

総務課長 無線でのペーパーレスはセキュリティ上難しくタブレットとパソコンが一体になったもので進めている。議会のペーパーレス化等との連携を含め令和2年度に検討する。

所管の常任委員会に付託審査

議案第17号 令和元年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

瀧野 クラウド使用料は町全体でいくらか。

住民課長 国保のシステムクラウド料は費用負担軽減のため国が推奨し、松前町、伊方町に久万高原町が加わったもので、当町が加わったことにより月額13万円減額となった。

瀧野 サーバー使用料は月額50万円で継続的に支払っているの

か。場所やエアコン等多くの問題はあっても早く処理すべきと思うがどうか。

総務課長 検討は継続的に行っている。光が整備される状況も見ながら具体的に移行したい。

総務文教厚生常任委員会に付託審査

議案第28号 令和2年度久万高原町一般会計予算

岡部 自主財源である税收減が進む中、行政財産等の処分を含めた財源確保の検討は予算に反映されているのか。

総務課長 予算編成過程において、活用できる遊休施設等の貸付も含めた収入確保で計上している。処分可能な財産については随時処分していく。

瀧野 上浮穴高校の学生寮を2億かけて建て、負担も町が支出し、3、4年後には子供がいなくなる中、予算が執行されているが説明を求め。

小野教育長 本町の児童生徒に關しては3年後以降厳しい数字が出ています。今後、学校説明会の対象を保護者に広げて興味関心を持つってもらう他、全国的組織の留学フェスタに加盟し町外、県外からの生徒を呼び込む努力を続ける。

瀧野 存続の問題、3年後の話がざっとしているが、3、4年後に分校化の検討に入る事態に直面した場合、町民に対して申し開きできるのか。

小野教育長 将来の子供の数を予測し、分校化を防ぐ方策として学生寮建設に取り組んでいる。このことに精一杯取り組むことが大事と認識している。

瀧野 町民の総意だったのか。町長の考えはどうか。

河野町長 中学校の卒業生が令和10年頃までは40人に近い数字であるが、森林環境科枠や砥部、松山からの生徒も現在20人を超えており、寮を活かして存続につなげていかねばならない。

瀧野 3、4年後に41名を確保することは難しいと思うが、県内にも障がいを持つ生徒を受け入れている高校もあると聞くと、幅を持った対応をすべきである。町民のお金を使っている以上、ダメになるのがわかっていて対応しないのなら執行権者の責任である。

小野教育長 特別支援教育については、現在全町的な構築を考え、幼、小、中と切れ目のない体制の見直しに取り組んでいる。高校との連携についても取り組むたいと考える。

高橋 上高の寮の運営において、知らない町で生活する生徒の精神的ケアはどう考えるか。

小野教育長 寮母、支援員、寮母を補佐する支援員、男性寮長等の確保に努めている。

高橋 支援員は何人か。また、他県から入寮する人数は。

小野教育長 支援員は2名。他県から来る生徒は6名。

高橋 海士町の島前高校等の話を聞くと入寮生一人に1家族の島親という制度があり、見知らぬ土地での生活をケアしているが、きめ細やかな準備は。

小野教育長 里親等については、当面寮生の生活を見て検討する。

高橋 支援員の人数が心配だが、同窓会、後援会等とも連絡を取り、来てよかったと思える高校生を送れるよう十分配慮いただきたい。

瀧野 合併後10年の正月の新聞に地域格差が掲載されていたが、スマートシティはどういうものか認識を聞く。

河野町長 スマートシティ、コンパクトシティについては立地適正化計画を基に中心地・そうでない地域に配慮しながらやっていく。

高橋 八幡山の事業費はどうなっているか。

林業戦略課長 見直した結果、舗装はせず通常の作業道の補修で計上している。

瀧野 合同専門委員会の説明では1700万円組んでいたが変更理由は。

林業戦略課長 八幡山の森林公園利用の観点から舗装案を示したが、委員会のご意見を受け、路面整備に見直した。

中野 国の補助事業を活用した文言が多いが、補助の割合、財源内訳等を解りやすく概要書に記載すべきだ。

総務課長 常任委員会では予算書の説明の中で財源内訳を説明する。

高橋 ふるさと旅行村の高圧機器取り換え工事390万円の説明を。

ふるさと創生課長 保安点検で、定められた年限を超過したものの取り換え工事。

中野 観光振興総合プロデュース業務委託料300万円の費用対効果はどのように見ているか。

ふるさと創生課長 内訳は美術館、天体観測館、山岳博物館の戦略的営業プロデュースに150

万円。観光協会を中心とした観光振興プロデュースに150万円を計上する。費用対効果についてはKPIを用いた達成度を別途で説明する。

玉井 古岩屋荘修繕費の説明を。
ふるさと創生課長 トイレ修繕で50万円を見込んでいます。

瀧野 古岩屋荘も今後老朽化による修繕が出てくると思うが、指定管理施設の大きな修繕についての考えは。

総務課長 指定管理費用負担の在り方については基準、ルールを設けて対応している。大規模修繕やリニューアル等の負担については、施設の耐久性等も考慮し、来年度策定する個別計画にも出てくるが、個別具体的協議が必要である。

中野 ゆりラボの活動支援。起業センター支援及び運営業務委託とは。

総務課長 愛媛大学や東京の民間会社の指導を受けており委託費400万円、運営業務委託費300万円、ゆりラボの活動拠点として町内施設のリニューアル1000万円となっている。

中野 リニューアル施設の場所は。
総務課長 商店街の空き店舗を

予定している。

中野 ゆりラボということで、地域内のNPO法人や地域住民の集合体で事業を計画した場合、柔軟な対応をしてもらえると捉えて良いか。

総務課長 中間支援組織の育成という観点であり、町内でこれを参考にという動きが生まれる事も期待している。

熊代 様々なイベントにおける参加人数等のデータ把握は。

ふるさと創生課長 車両の台数や目視で捉えた数を見越して算出している。

熊代 今後の交流人口を町でデータ化し把握することは可能か。

総務課長 現状、REASASという統計調査があり公表されている。町独自のデータ把握の大事は認識している。

熊代 人の流れは把握すべきだ。人がたくさん集まるイベントには必要な予算を計上し、判別するためのデータは必要だ。

玉井 町内学校遊具の補修939万円の説明を。

教育委員会事務局長 町内幼稚園、小学校の遊具の点検実施に

基づき修繕する。

瀧野 遊具は修理代も含めて高額だが、専門的な見積もりを取っているのか。

教育委員会事務局長 専門の業者から見積もりを取り、専門遊具業者に委託している。

瀧野 新型コロナ対策については終息が見えない中、大変な時期が続くと思うが教育長の考えはどうか。

小野教育長 現在休校中の子供の居場所確保で各学校対応している。現場の教員、支援員も精一杯対応していただいている。

瀧野 まちなか交流館あたりを使用して、ボランティアやNPO法人による子供食堂等も考えられるのではないか。

小野教育長 提案頂いた町内業者等との連携は重要な事であり研究する。

高橋 学校を拠点とした地域のコミュニティ促進のための学校と地域の連携事業補助金とはどのようなことか。

教育委員会事務局長 町内全小・中学校11校に各15万円補助し、地域住民と連携した取り組みを各校で実施している。

所管の常任委員会に付託審査

常任委員会

総務文教厚生常任委員会

報告第2号 損害賠償に係る
和解及び損害賠償額の専決処
分の報告について

中野 安全運転に対する危機意識、教育をしているのか。
総務課長 安全運転の徹底と注
意をしている。

議案第4号 上浮穴高等学校
学生寮設置条例の制定につい
て

中野 非常に簡単な条例だが、
網羅しているのか。

教育委員会事務局長 条例以外
の部分は、規則で定めている。

高橋 運営の規約は作るのか。
教育委員会事務局長 運営委員
会を規則で定めて協議する。

瀧野 高校に特別学級の制度や
取り組んでいる学校はあるか。
小野教育長 参考になっているのは

三間高校で、上高と県教委と連携
して準備していきたい。

議案第8号 久万高原町会計
年度任用職員の給与及び費用
弁償に関する条例の一部を改
正する条例の制定について

中野 臨時職員をそのまま採用
するのが前提か。

総務課長 臨時職から移行する
場合、地域支援員、協力隊を除い
て全て応募して採用する。

瀧野 格差についての配慮は。
総務課長 民間との格差につい
ては十分意識して配慮していく。

議案第10号 久万高原町職員
の給与に関する条例の一部を
改正する条例の制定について

中野 町外在住の職員は、どこ
から給料を貰っているか考えて、
町として対応を考えているか。

総務課長 可能な限り公務員と
して大事な部分は職員に意識して
もらうよう努めている。

瀧野 国勢調査で減ったら町の収
入も減るわけで、町外から通勤し

ている人と町内で頑張っている人
が同じというのは不公平だと思う
か。

高山副町長 町外から来ている職
員には住所を移す等、指導して勤
務査定している。

瀧野 消防職員は1日働いて2
日休みで、町内に住んでいないと
緊急時の対応ができないがどう
か。

消防長 職員は町内にとりい
で、緊急時には呼び出しに依る
連絡体制をとっている。

議案第16号 令和元年度久万高
原町一般会計補正予算(第5号)

中野 機械器具費225万40
00円は、パソコン何台分か。
総務課長 45台分だ。

田村 地域おこし協力隊の報酬
の減額が大きい、隊員が集まら
ないのか。

総務課長 募集に対して人数が
確保できなかった。

瀧野 ある団体に決算特別委員
会の質疑内容を文書で出された
が、相手方から「どちらからの文

書か」と聞かれ、「議会」と答え
たのか。

保健福祉課長 間違いない。

瀧野 公務員は守秘義務がある
が知っているのか。
保健福祉課長 存している。

瀧野 決算特別委員会の発言を
文書で出したのも問題だが、議会
の名前を出した事と、個人名を出
した事は無いのか。
保健福祉課長 個人名は出して
いないと思う。

瀧野 守秘義務違反は1年以下
の禁錮刑、50万以下の罰金。今
後はこのような事の無いように思
うが。

保健福祉課長 不適切な行動で
あり、今後は無いように努める。

中野 非常備消防費で、備品購
入費と庁用器具費とあるが、普
通の消防団が使うものと違うの
か。

消防長 防火長靴関係と被服関
係で、長期に耐えうるものとして
備品扱いにしている。

中野 消防団で欲しい備品や、傷

んでいる物があれば予算で充実してもらいたい。

消防長 実情をみながら消防団の要望に対応したい。

大原 昨年のGW等、図書館の長期休館は弾力的な運用をする必要があると思う。

教育委員会事務局長 来年度以降、考慮して祝日は開館するように検討している。

田村 新型コロナウイルスによる休校で、テレビでも食材が余り、対応しているが久万高原町は。

小野教育長 特に給食資材について具体的な話はないが、あれば早急に対応したい。

中野 学習支援員の新型コロナウイルスの陰性は担保されているのか。

小野教育長 検温等、体調は十分確認している。

瀧野 長期化する可能性は十分あると思うが、町の取り組みは。

河野町長 非常に心配している。国、県とも連携しながら推移を含め、見極めながら教育委員会と綿密に連絡を取り、子供たちの教育

に影響がでないように努めていく。

瀧野 予防医療は保健センターが中心になって、町民が安心して生活できる対策をとってもらいたい。

保健福祉課長 保健センターでは電話相談や、ホームページ、チラシの配布で啓発している。

議案第20号 令和元年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

瀧野 今、65歳以上の人、待機者認定を受けて施設に入れない人は何人いるのか。

保健福祉課長 特養が88名、4つのグループホームが60名で、計148名です。

議案第28号 令和2年度久万高原町一般会計予算

●総務課関係

瀧野 森林環境贈与税が安定したら補助金は出せるのか。

総務課長 安定的にできる事業を具体的にやっていきたい。

瀧野 林業戦略課の事業計画ができていないと思うので、将来構想

を出してもらいたい。

総務課長 林業戦略課中心で情報が共有され、総務課も財政運営上、安定的な財源として見込まれるので注意してやりたい。

中野 公共施設個別計画マネジメントシステム構築業務の説明を。

班長 令和元年度、2年度にかけて債務負担行為を組んで個別計画について行うものです。

総務課長 施設を今後どのように維持していくか網羅して、毎年更新していくシステムの構築だ。

中野 施設をどうするか決まらなかったらシステムは要らないのでは。またシステムを通したらどうなるのか。

総務課長 本年度から担当課で調査してシステムに入れている。施設ごとで、売却や継続や更新など入力して財政や負担のコスト計算が可能になってくる。

中野 とにかく施設をどうするか決めて動かないと負担は増えると思うが。

総務課長 来年度中には全ての施設について方向を出して構築業務中に盛り込んでいく。

瀧野 固定資産台帳が遅い。

総務課長 公共施設のマネジメントシステムと公会計の構築の支援業務が資産台帳で当然リンクした形で動くようになる。

中野 第2期総合計画策定業務委託料は。

総務課長 総合計画は計画期間10年で5年ごとに見直していく。

中野 町や住民や議会も一緒になってまちづくりの後期計画を自分たちで作るべきではないか。

総務課長 あくまでも職員が中心になって作っていくが、新しい概念も入れ込むので支援業務も活用する。

中野 新業務とは具体的に。

総務課長 ワークシヨップや住民の意見の集約、職員が専属で策定する方法もあるが、仕事を持ってるので委託した方が効率的である。

瀧野 立地適正化計画にしても、都市計画区域だけでなく中山間地域も含める形が良いのでは。

総務課長 来年度の立地適正化計画、国土強靱化計画など様々な個

別計画があり、まとめていくのが総合計画だと思う。

瀧野 地域の細かい意見も聞いて作る計画を望んでいるが。

総務課長 総合計画は町の理念という位置づけで整理していきたい。

中野 地域運営協議会は旧久万町の都市計画区域外、川瀬、父二峰、明神でも作るべきではないか。

河野町長 面河がスタートした後続いてやっていくが、旧久万町も総務課で検討を始めているのでしっかりと反映させていきたい。

田村 集落支援員の費用の内訳は。

総務課長 支援員の活動、人件費で面河1名、美川1名、柳谷3名にかかる費用です。

田村 支援員の活動状況や目的は。

総務課長 地域運営協議会の設置を一番の目的に活動している。

田村 集落支援員と地域おこし協力隊との関連は。

総務課長 地域の活動と方向が一致すれば必然的に同じになるケー

スもある。

瀧野 地域運営協議会を立ち上げたら、地域の皆さんが安心安全で生活できる根拠は。

総務課長 目指すものは住民の総意で進めて地域ごとで特色があることである。住民の移動手段は共通の課題で引き続き取り組んでいきたい。

瀧野 役場主導で進めた方が良いのでは。

総務課長 地域と行政、福祉、病院など役場の職員も一緒に作っていくことが大事だと思う。

大原 企業版ふるさと納税に来年度取り組むつもりがあるか。

総務課長 具体的なものはないが、利用したいので検討している。

●住民課関係

瀧野 役場の事務経費、業務の軽減を考えるとコンビニ利用を推進していくべきでは。

住民課長 現在、導入経費、費用対効果では高い交付料がかかるので、将来的には検討する必要があるが、まだ検討には至っていない。

●保健福祉課関係

瀧野 シルバーの場合はNPO法人を立ち上げて1日働けるようにしたらどうか、要望は無いのか。

保健福祉課長 NPO法人等立ち上げるには、現在会員が62名で、1日働くとすれば100人を保つ制度があるため踏み切れない。

中野 児童福祉施設費の委託金、負担金補助及び交付金を払っている業者は何件か。

保健福祉課長 主に久万こども園、ハッピーハウスとニコニコ館で育和会が運営している事業になる。

中野 他の地域と格差があるように思うが、久万だけで事業展開せずに他の地域への事業展開を打診していないのか。

保健福祉課長 今のところ育和会で、打診はしていない。

中野 総合的な計画を教育委員会と相談してやらないと、地域差は広がるばかりでは。

河野町長 地域格差が無いように皆さんからの助言もいただき、全町で放課後保育も1時間延長を検討している。

田村 久万こども園の利用状況と、保育料無料化で町の負担は。

保健福祉課長 児童福祉費は国、県、町でそれぞれ3分の1ずつの負担。利用状況は、令和2年度、全体で92名となります。

田村 こども園はどこからでも受け入れるが、後々小学校の維持が問題になるのでは。

保健福祉課長 こども園の場合、共働きであれば入園できるが、校区外の件についてはお答えできない。

●教育委員会関係

田村 小学校も放課後の対応をする予定は。

小野教育長 幼稚園が預かり保育を始めたたり、長期休業中の保育も始めたり、体制を組んでいきたい。

田村 小学校の存続は、地域で教育できる体制を福祉課と連携を取る必要があると思うが。

小野教育長 小さな学校を守る方向で取り組んでいる。

瀧野 校区内での就学について教育委員会がしっかりとした考え方で取り組んでいるのか。

小野教育長 親の都合で校区外就学が認められていたが、民生児童委員から申請書に所見を頂き、地域から意見を頂くような取り組みをしている。

大原 団の移動系無線基本設計委託料の基本設計とは何の予算か。
消防長 消防無線のシステムを構築するものである。

大原 常備消防の無線を最近更新しているのだから、そのデータを参考にして経費削減を図るべきだ。
消防長 前回のデータも参考にする。

高橋 図書館の利用者数、本館と巡回図書館は。
教育委員会事務局長 来館者数1万4000人、貸出人数9633人、移動図書館2082人。平成29年も1万4116人でほぼ横ばいで現在は休館中だ。

瀧野 産業文化会館は寒いが施設管理は。
教育委員会事務局長 長時間暖気をしなないと温まらないので見直したい。

瀧野 学校にエアコンを設置したが町内業者は参加したか。
総務課長 金額と工期的なことから町外業者だったが、今後方策は考えていきたい。

瀧野 臨海学校をやっている、都市と農村の交流は大事だと思うがいかがか。

小野教育長 大三島の活動は、宿舎が第三セクターになり料金が跳ね上がり、今までの料金でやれなくなり来年度から打ち切りになった。面河少年自然の家が無くなり、それぞれの学校の自然体験活動で大三島に行っており、海の体験が無いのではなく自然の家活動としてつないでいる。

大原 Wi-Fi環境整備は、光回線が通った久万小、中学校が対象だと思うが。
教育委員会事務局長 国からギガスクール提案があり、Wi-Fi環境の整備は検討していきたい。

中野 預かり保育の無料化を受ける条件は把握しているか。旧久万地区で始まる預かり保育は午後6時までと聞いているが川下地区は。
教育委員会事務局長 預かり保育

無償化は、まだ検討していない。預かり保育を実施しているところ全てが午後6時までだ。

瀧野 学校で一人一人がタブレットを持っているが、遠隔授業ができるのではないか。

小野教育長 一人に1台のタブレットは実現してなく、どこかのクラスが持って帰ると他の子供たちが使えないので、次の段階で考えたい。

瀧野 新型コロナウイルスの関係で、遠隔授業等できるようにするべきでは。

小野教育長 一人1台が整備できず、学校と家庭がつながり学習支援ができたというところで今後、整備していくと強く思う。

高橋 図書館の経費を考えたら効果的な使い方ではないと思うが、人件費等、実際要る費用を減らす工夫はできてないのか。
教育委員会事務局長 図書館の開館日数を増やしたり、利用者を増やす取り組みをしながら改善し、運営するにあたり注意しながらできるだけ節約に努める。

中野 何のためにやることなのか、金額的にどうなのか説明を。
病院等統括事務長 地域医療構想の中で、病院を改修するには調整委員会に諮ることが必要で、将来の公共施設について改修が必要になった時も専門的な計画が必要になるので業務委託する。金額については、今後厳密に精査して取り組む。

議案第39号 令和2年度久万高原町立病院事業会計予算

中野 新病院基本計画策定業務は、どういうことをして、どこに支払うのか。

病院等統括事務長 全国自治体病院協議会等に、専門的な改善計画や健全化計画を策定するために業務委託するものだ。

中野 健全計画は、頼まなくても問題点がわかっていっているのなら自分たちで考えたらどうか。

病院等統括事務長 地域の医療構想の中で地域医療構想調整会議に諮らないと改修等できなくなるので、経営計画を作るうえで専門的知識がある全国自治体病院協議会に業務委託して、健全化計画を策定していく。

今後厳密に精査して取り組む。

産業建設常任委員会

報告第3号 工事変更請負契約の締結に関する専決処分
報告について

原案のとおり可決

議案第12号 久万高原町直瀬ふもと友愛館条例の一部を改正する条例の制定について

原案のとおり可決

議案第13号 久万高原町直売所条例の一部を改正する条例の制定について

原案のとおり可決

議案第14号 久万高原町国民宿舎古岩屋荘条例の一部を改正する条例の制定について

川崎 宿泊者から入浴料金は徴収しないのに条例では宿泊者、中学生以上1500円の入湯税を徴収とあるが、誤解を招く恐れがあり削除すべきではないか。
ふるさと創生課長 入浴料金と入湯税は別物であり、規定の中で宿泊者から料金は徴収しないと位置づけすることが必要と考

える。

原案のとおり可決

議案第15号 久万高原町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

原案のとおり可決

議案第16号 令和元年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)

●農業戦略関係

瀧野 農業公園研修生の就農人数、5年以内に辞めた人数、10年以上続いている人数は。
農業戦略課長 全研修生は49名、その内就農者が23名、リタイア20名、研修中リタイア6名で、10年以上継続者は9名、5年以上6名、5年未満8名となっている。

瀧野 農業公園卒業生と共に考えなければならぬのが地元後継者の育成であるがどうか。

農業戦略課長 次世代人材投資資金制度では、地元に戻って新規就農を始めた人が対象で最長5年間150万円を受け取る。20名の受給者の内半数位はUターンの方である。

●林業戦略関係

瀧野 やまぶき荘の入居状況は。
林業戦略課長 12室あり満室である。

瀧野 全員林業関係者か。

林業戦略課長 農林業の担い手を対象としており、いぶき6名、森林組合2名、農業公園、公社の関係である。

瀧野 商社化について本当にやる気があるのか。

林業戦略課長 必ず行いたい。

瀧野 商社化のネックとなっているのは市場だと思う。結局手数料を減らして流通関係の中でできるだけコンパクトに経費をかけずお金が残る仕組みづくりは可能なのか。

林業戦略課長 コストを下げる事は一番の問題であり、流通改革が必要である。原木市場の問題は大きな課題であるが積極的に取り組みたい。

瀧野 片方を引っ張れば、片方が成り立たなくなるが、どこかで決断せねばならない。誰が決断するのか。

林業戦略課長 関係者の協議により、どのように引っ張っていくか、どう調整するかが重要であり、中予流域林業活性化セン

ターを中心に進めたい。

瀧野 この問題を解決していくために愛媛県の指導や大学の指導等は受けているか。

林業戦略課長 愛媛県との協議は常に行っており、林業成長産業化指定においても応援いただいた。

瀧野 商社化することで合理的、効率的に経費を抑える仕組みづくりができる。早急にやらなければこの町の林業は生き残れない。

●建設課関係

中川 29年の災害で通行止めになったままの林道がある。国の災害査定を待っていると聞くと、林業農業の関係者はいつまで待ったらいいのか。
建設課長 先日この件で協議をした。再度確認する。

中川 高齢の関係者が農地に行けず2年以上待っている。早急に対応していただきたい。

原案のとおり可決

議案第22号 令和元年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

瀧野 流量が随分減ってきて

いるのではないか。今後維持できなくなり、将来的には管路閉鎖して合併浄化槽に変えていく事態も考えられるがどうか。

環境整備課長 農集の管理運営上、一定の処理量がないと施設の運営に支障をきたす。小規模の施設では半分以下になっていくところもある。下水道事業3会計の公営企業化の取り組みもはじまっており、施設の維持管理、長寿命化等整備計画を立てて進めていく。

瀧野 公営企業会計になっても一般会計からの繰り入れは可能か。
環境整備課長 一般会計からの繰り入れは可能である。企業会計の収入は料金収入しかない。利用者のことも考慮し、料金改定は慎重に行う。

瀧野 下水道、上水道、特に繰り出し金が多い。今後施設の管理費もかさんでくる中、総合計画の中で計画的に推進すべきである。

総務課長 危惧するのは農集の今後の在り方となる。町のすべてのインフラ、道路、施設も含めてトータルで将来展望が重要である。時間はかかるが固定資産の現状、台帳、方向性を出し、どのように連携づけていくかで

ある。

原案のとおり可決

議案第23号 令和元年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

原案のとおり可決

議案第24号 令和元年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)

原案のとおり可決

議案第25号 令和元年度久万高原町分譲宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

原案のとおり可決

議案第28号 令和2年度久万高原町一般会計予算

●ふるさと創生課関係

瀧野 結婚祝い金、誕生祝い金の対象者は何名で試算したか。
ふるさと創生課長 結婚祝い金1組2万円、誕生祝い金1組30万円であり、結婚祝い金を20組、誕生祝い金を45人、合計175万円の計上である。

瀧野 地域おこし協力隊7名で

4400万円。目的をもって来てくれた人が、ここに住み着いて起業したいという関係が大事だがどうか。

ふるさと創生課長 7名を新たに募集するということで合計14名となる。テーマや分野をもつて募集しており、月1回の定例会では意見交換や情報交換、或いは外部から講師を招いてスキルアップ講座等も実施している。卒業時には起業に係る資金面や計画等もフォローしていきたい。

玉井 7名の募集であるが見込みはあるのか。

ふるさと創生課長 地域課題や町の課題に対応していただく必要な人材であり、国の特別交付税の対象で町の経費削減にもつながるので積極的に取り組んでいく。

瀧野 まちなか交流館は年間どれくらいの方が利用しているのか。間くところによるといい施設という人もいる。都市と農村の交流施設という位置づけであり、若い職員あたりが企画して活用すべきではないか。

ふるさと創生課長 年間11000人程度利用している。賑わい創出の施設であり、フリーマーケット等日常的に親しんで利用できる施設としたい。

●環境整備課関係

瀧野 し尿の松山搬送はいつから実施するのか。
環境整備課長 令和3年4月を目標に松山市への委託等について協議している。

●農業戦略課

天野 農業振興予算についてはメニューも増えいい傾向に推移しているが、消化しきれない部分もあると感じる。計画が100%に近い形で進むことを望んでいるが担当課はどうか。
農業戦略課長 年間計画の中で予算計上している。農業振興予算については全額使い切るくらいの思いである。特に産地化支援事業でハウスの更新に使用でき、有効に活用できれば良い。

天野 有効に活用するために利用し易い条件にハードルを下げていくことも考慮していただきたい。

農業戦略課長 国、県の補助事業については条件変更等のハードルを下げることは難しいが、町単事業については若干幅もある中で利用し易くなる条件緩和も検討する。町単事業の中で鳥獣害防止柵については予算一杯利用いただいているが、利用度の低い事業の精査も行う。

●林業戦略関係

中川 美しい森林づくり基盤整備交付金は2年度で期限を迎える。自伐林家の皆さんには死活問題であり名称は変わっても同じ補助金が続けば問題ないが、万が一途切れた場合や伸びた場合、町がつなぎ資金を注入するくらいの考えはあるか。

林業戦略課長 町内を回った町づくり懇談会でも多くの意見をもらった。国に確認すると、再度延長を協議しているが確定事項ではない。町の姿勢として何らかの手当は続けていく。

中川 基幹産業が補助金頼みという厳しい現実だが、町も積極的な取り組みをいただきたい。

川崎 再造林していく中で下刈り作業がネックになるが、省力化等何か対策は考えているか。

林業戦略課長 国有林で研究している冬刈りは真夏の厳しい時期を避けた時期に作業する方法だが、効果もあるように聞いている。

瀧野 里山、集落に近い所へは針葉樹を植えないという話もあつたが最近は何かないか。

林業戦略課長 山の頂上付近は広葉樹を植林し、里山についても適木を植林すること、森林基本計画でも謳っているが、現実

は林家の更新意向に左右され至っていない。

瀧野 広葉樹は水源涵養になり水持ちがよく災害を防ぐ効用もあり伐期も短い。担当課として考えてないのか。

林業戦略課長 将来的にはスギ、ヒノキを植えて間伐し収入を得る山と、水源環境林として混交林化していく山に分かれていくと思う。

●建設課関係

天野 路面等整備業務委託をもっと増やして業者が年間を通じて管理委託するような形態は取れないか。

建設課長 久万土木事務所においてはそのような契約もあると聞く。町民の命を守るとして観点からすると業者との年間契約も検討してみる。

討論

瀧野 賛成の立場で討論する。多くの町道があるが高齢化の時代、言いたくも言えない人も多くいる。普段の業務の中で全町を細かく回って管理する体制を取るべきである。

原案のとおり可決

議案第34号 令和2年度久万高原町農業集落排水事業特別会計予算

原案のとおり可決

議案第35号 令和2年度久万高原町公共下水道事業特別会計予算

原案のとおり可決

議案第36号 令和2年度久万高原町浄化槽事業特別会計予算

瀧野 合併浄化槽の年度設置数は。

環境整備課長 昨年度5基である。

瀧野 河川の浄化と快適な生活空間の推進という目的がある。設置の推進はしているのか。

環境整備課長 現在7基の要望が上がっている。今後も設置に向け推進していく。

原案のとおり可決

議案第37号 令和2年度久万高原町凶荒予備事業特別会計予算

原案のとおり可決

議案第38号 令和2年度久万高原町分譲宅地造成事業特別会計予算

原案のとおり可決

議案第41号 令和2年度久万高原町簡易水道事業会計予算

原案のとおり可決

議案第42号 農村集落古味多目的施設の指定管理者の指定について

原案のとおり可決

議案第43号 久万高原町おもごふるさと市場・久万高原町面河特産品開発センターの指定管理者の指定について

原案のとおり可決

議案第44号 町道路線の認定について

原案のとおり可決

議案第45号 町道路線の変更について

原案のとおり可決

本会議最終日

議案第22号「令和元年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)」に関する委員長報告に対する質疑

中野 人口減少を見越していなかったと答弁があったと報告があったが、委員会で追及はされたか。

岡部委員長 当初予想していなかったような現象の中にある。今後においては、財政的な面で検討しなければと答弁があった。

議案第16号「令和元年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)」

質疑

岡部 新型コロナウイルス対策では、危険を過小評価したバイアスがあったのでは。

河野町長 情報が十分でなかった。子供たちの健全育成、学業の充実を勘案しながら町については9日から休校を予定した。

議会からも指摘があり、その後感染が広がり、会議の中で急遽、県に先んじて3日から休校とする旨を徹底した。

岡部 町長の方から、緊急事態であり、予算に関することについても、言及はあった。国、県も様々な対応をされている。町では予算措置の話が聞こえてこない。

河野町長 今後、国、県の通達もあると思う。しっかりと連携を取りながら対応を進めたい。町独自の支援策については、早急に協議をして、対応して行きたい。

瀧野 町内経済への影響について新聞掲載された。どういう関係者の皆さんに対して調査されたのか。

ふるさと創生課長 町内の主だった事業者さん12件について調査についてご協力いただいた。

瀧野 危機管理、新型コロナウイルスにも、保健センターの取り組みが見えない。専門の立場で取り組まないとならない。
総務課長 新型コロナウイルス

で一番心配するところは高齢者や疾患をお持ちの方である。保健センターでは、電話対応など細かく対応させている。町立病院も、一部隔離をするとか具体的に準備はしている。小さなところから、しっかりと寄り添っていききたい。

瀧野 危機管理については、全職員挙げて取り組む姿勢を持つべきでは。

総務課長 全職員が情報を共有する所が大事になる。その点については、L G W A N系の情報系パソコンで職員に伝える対応をして行きたい。

大原 商工会関係者を集めて経済対策を検討したと答弁された。商工会は会員へのサービスが仕事で、町内には商工会に加入していない事業者も多数おられる。従って町担当課にも経済専門の職員を配置した相談窓口が必要と思うがどうか。

ふるさと創生課長 国、県等においても、窓口を設置している。関係の政策金融公庫、商工会連合会等、専門の部署を相談窓口とし置いている。現在も商工担

当はいるが、第一線に立って、皆様方の相談に乗って、紹介とか説明とかできるような窓口をおきたいと考えている。

瀧野 危機対策の会議としたら、この2週間なり1カ月何とかなないと、その間、資金が足らなくなるかもしれない。町民の皆さんが、言葉として出せないことについても、協議して、対応すべきでは。

ふるさと創生課長 金融機関の皆様方にも、適切に、丁寧に対応していただくよう依頼もしている。今後の対策については、早急に会を持ち実際の現状を把握して取り組んでいきたい。

高橋 今、図書館は閉館している。図書館は、ウイルス感染の非常にリスクの低いものだと思っていた。県立図書館、松山市の本館分館、砥部町はやっている。休館にしたエビデンス(根拠)を。

教育委員会事務局長 対策会議の中で、社会施設等は臨時休業との事に従って、決定した。

高橋 一つ一つの問題について、

十分に検討するような対策会議でない、一括で全部閉館では、十分な対策になっていないと思うが。

河野町長 子供たちに感染させないように、そのことが第一に問われていた時期であった。決して、教育委員会施設、一切中止、閉鎖、そういう風な決め方をしたのではない。今後については対策会議の中で、十分に検討して行きたいと思う。

議案第28号「令和2年度久万高原町一般会計予算」

質疑

大原 就農者の高齢化に伴い、農地の集約化やトマト営農団地の取り組みに関する意見が多々出ている。新年度に取り組みつもりはあるのか。

農業戦略課長 地域の中に若い農業者を紹介して、地域の協力を得ながら、小さな団地を進めて行くことを、本年度から一歩踏み出したところである。

大原 地域おこし協力隊の身分が、会計年度任用職員に移行す

ると説明があった。彼らの可処分所得に変更が出るのか。その財源についてはどうか。

ふるさと創生課長 会計年度任用職員の身分になる。手当等支給になるので、収入増につながると考えている。財源については、すべて国の交付金の対象となっている。

瀧野 スマートシティ、これは中山間の地域、久万高原町に当てはまる計画だと思いが。

河野町長 今を生きる私たちが、次の世代を担う子供たちに、夢と希望を与えるような町でなくてはいけないと思っている。光も含めて、やることはたくさんある。それを一つ一つ、的確にこなしていくことが持続可能な町づくりへの第一歩となるものと考えている。

瀧野 一つの大きな計画に向かって、一つ一つこなしていくのが大事で、町の計画はすべて同じ計画に向かって行っているのか。

総務課長 町の方向をしっかりと位置づけるのが総合計画であり、ある意味、町の理念をしっかりと

とうたう部分が総合計画だと思う。その理念に沿った個別計画が、それぞれの立地適正化計画であったり、各分野の計画だったりだと思う。そういう意味では、必然的に、総合計画と個別計画は同じ方向をみている。

岡部 大きな災害の際、対策本部の職員や、リーダーは出席できないという事態も想定される。AIを活用した災害対策というのが注目を浴びている。検討はされているのか。

総務課長 各種展示会等で、災害とAIという、そういうテーマの項目というのは、認識している。町としては、まだAIに具体的に取り組んではない。

中野 美しい森林づくりの補助金3年度以降のこの事業に向けての見直しは。

林業戦略課長 林野庁に出張した時、問い合せ、陳情もした。その時の回答としては、現在の間伐特措法、これの延長作業を現在しているとの返答をもらった。当然補助事業も継続されるというように見込みが想定される。

討論

瀧野 一般会計予算について、賛成の立場で討論をする。予算の編成に当たっては、中長期的な展望に立って、総合計画を踏まえて、健全で自立的な財政運営の確保に努めると書いている。財産管理についても、財政状況の評価についても書いている。こういった厳しい中では、それなりの予算であったのかなというところを、意見として述べさせていただいて、賛成答弁とする。

各常任委員会に付託された議案について、常任委員会の報告を受け審議し、これを可決した。

追加議事

報告1件・議案5件・発議1件・委員会研修報告2件
原案のとおり可決した。

視察研修報告

【特別委員会視察研修報告】

ICTでまちづくり

委員長 瀧野 志

2月20日、21日、滋賀県高島市今津町で、ICTを活用した農業に取り組む株式会社パーシテック代表取締役 水尾学氏の下で研修を行った。

水尾氏は、柿農家の後継者として様々なITツールを運用している。圃場の情報管理サービスでは、ドローンによる画像やマルチスペクトルカメラを用いたセンサー情報を融合し、高度な生育分析を実現するサービスや、ドローンによる高精度の農薬散布など、優良農産品の生産に役立っているとのことであった。

次にハウス管理システムでは、ハウス内に設置した大量センサーの多変量解析と連続撮影した位置情報を含む画像データの解析から、トマト収穫予測個数や収穫適期を予測でき、作業効

率が上がっていると説明された。

また農産品の現地画像を遠隔地のお客様に送ることによって、観光農園の紹介や、柿やリンゴなどのオーナー制度などをよりリアルに説明ができ、観光PRが可能となる。このことは、久万高原町が取り組む事業の紹介や、農村と都市の子供たちを中心とした野外授業にも利用でき、まちなか交流館も多目的に使えることになり、初期の目的である交流人口も増えると感じた。

久万高原町の基幹産業である農林業についても、インシャルコストやランニングコストがいくらかかるのか、経営指数を計算し、早くICT化に取り組むべきだと考える。



ICT視察

【常任委員会合同視察研修報告】

総務文教厚生・産業建設

総務文教厚生委員長 熊代 祐己

産業建設委員長 岡部 史夫

令和2年2月5日～7日の間、千葉県幕張メッセで行われた「地方創生EXPO」に参加し、持続可能な町づくりに係る各種講演を受講する研修を実施した。

第2期地方創生の新たな視点は、

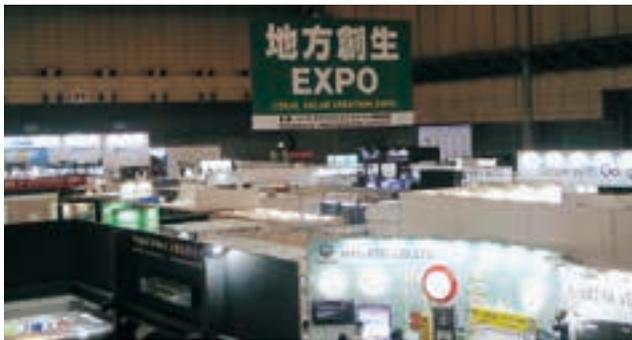
- ① 企業や個人による地方への資金の流れの強化
 - ② SDGsを原動力とした地方創生
 - ③ 人材の更なる掘り起しや育成・活躍を支援
 - ④ NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携
 - ⑤ 誰もが活躍できる社会の実現
- ⑥ 地域経営をマネジメントの視点で取り組む
- 等が重点目標とされている。また、AI・IoT等のテクノロジーを最大限に活かし、どこでも仕事ができ、企業活動が成り立つ社会の実現や女性が活躍できる環境、若者が希望を持って生きていけるビジョンを町は提

示すべきである。一方、図書館の役割についても一考すべきであり、図書館を拠点としたデータベースから地域の伝統、文化、歴史を知り・考えることにより、自ら真剣に取り組むべきであると考ええる。スポーツリズムの講演では、スポーツを触媒としたビジネス連携、スポーツによる地域の魅力発信や、交流人口・関係人口・定住人口等の拡大及び健康寿命延伸などの役割効果についても留意すべきであると考ええる。

課題である目標を達成するためには、「全員参加の地域づくりを行う気風」が重要であり、それを行う自治体の人材育成が進んでいない現状の改善が必要であり、人材の育成が遅れると前に進むことができないことから、「義公の覚悟」を持った人材発掘も重要になる。また、少子・高齢化の影響で縮小社会に入り、消費や税収が落ち込む予測を克服するためにも、地域に心を寄せ、志を持って地域に関わる人を増やす必要があり、全員参加の地域づくりの風土が必要になる。

そして、「小さい個の地域」に

も目配りした支援策が必要であり、地域に合ったメリハリのある施策が必要であると共に、人口維持増加に向けては、地域経済の基盤強化が是非とも重要であり、その為にも定期的な地域経済循環の分析が必要である。今後、町は安易な手引書に頼らずに企業の活用も含めた人材確保により、自前のブランドデザインによる持続可能な取り組みに向けて、議会も更なる危機意識を持って取り組むべきである。



視察会場 (幕張メッセ)



視察状況

閉会中の主な議会活動

●12月定例会から3月定例会までの主な活動です。

- 令和2年1月
- 9日 議会会報特別委員会
- 16日 県町村議会議長会
全員協議会（議長出席）
- 21日 全員協議会
- 27日 議会運営委員会
臨時議会
全員協議会
- 29日 合同専門委員会
- 30日 議会会報特別委員会
- 31日 合同専門委員会
- 令和2年2月
- 5～7日
常任委員会合同視察研修
（千葉県幕張メッセ）
- 20日 全員協議会
ICTでまちづくり
特別委員会視察研修
（滋賀県高島市）
- 26日 県過疎自立促進協議会総会
（副議長出席）

27日 議会運営委員会
29日 臨時全員協議会

まちの未来が見える・聞ける

議会を傍聴しませんか！

- ※一般質問・本会議（町民館2階 議場）
- ※常任委員会（町民館1階 会議室）

・本会議も常任委員会も傍聴できます。

3月定例会の傍聴者は5人でした。
（町職員・記者を除く）



6月定例議会の予定

- 11日 開会
- 一般質問
- 12日 議案審議（質疑）
- 15日 総務文教厚生
常任委員会（審査）
- 16日 産業建設
常任委員会（審査）
- 22日 本会議
閉会

お知らせ

町議会ホームページへの二次元コードを掲載します。お手持ちのカメラ付携帯電話やスマートフォンのカメラ機能を使って二次元コードを読み取ると、町議会ホームページを表示・閲覧することができます。



編集後記

世界規模で猛威を振るっている新型コロナウイルス。本稿を作成している4月15日現在では本町に罹患者は発生しておりません。しかしながら町民の皆様におかれましては様々なご心配があることと拝察いたします。

町議会としても、町長をはじめとした役場の皆様とともに、町民各位の不安や不便をどのように解消していくかを考え、その実行に全力を挙げて協力しております。今現在の感染を止める手立てを講じることはもちろん、すでに大きな影響の出ている子供たちの教育に関することや、町経済に直結する農林商工業の復興など、コロナ禍以降のことについても先手を打って対策しなければならぬと思っております。

私たち町議は町民の皆様には奉仕をすることが仕事です。お困りのことがあれば、お近くの議員にご相談ください。

（大原貴明）